

請 願 第 3 号	平成25年9月2日受理
付 託 委 員 会	産業都市常任委員会
件 名	「やちよ農業交流センター」と「八千代ふるさとステーション」を結ぶペDESTリアンデッキの早期建設を求める件
紹 介 議 員	江野沢 隆 之 議員 緑 川 利 行 議員 海老原 高 義 議員 塚 本 路 明 議員 成 田 忠 志 議員 西 村 幸 吉 議員
請 願 要 旨	<p>八千代ふるさとステーションは、平成9年7月にオープンして以来、農産物の直売やイチゴ狩りなど、市内外から多くの来客者を迎えており、生産者にとっては、産地直売の施設として魅力あるものとなっております。</p> <p>本年4月には、“やちよ農業交流センター”がオープンしたところですが、「やちよ農業交流センター」と「八千代ふるさとステーション」をつなぐ橋「ペDESTリアンデッキ」の建設は着工されておらず、さきの市長選挙によりペDESTリアンデッキの建設を見直すと公約した市長のもとで、八千代ふるさとステーションと一体となる整備事業の実施を断念するのではないかと危惧しています。</p> <p>私たち農業従事者は、都市化による農地の減少や高齢化と労働力不足等、さまざまな問題を抱えながら、新鮮で安全な農作物を安定的に供給するという本来の機能を果たし、八千代市の自然と緑を守り、防災や水源涵養機能、そして地球環境の保全・保水機能を果たす農地を維持してまいりました。</p> <p>近年は、こうした農地の多面的機能がますます注目を集めており、本市においても市民の「いやし、生きがいの場」としての体験農園に対する期待が高まっています。また、農業を学校教育の一環として、さらには「園芸療法」として障害者・老人福祉の場にも利用されるようになってきております。</p> <p>やちよ農業交流センターは、農産物の加工、製造販売による新たな農業経営の機会の場として、また農業体験など、農家と市民の交流の場として、大いに期待する施設であり、ふるさとステーションの来客者を導くペDESTリアンデッキは商業的・観光的視点からも必要不可欠なものと考えています。</p> <p>やちよ農業交流センターの活性化には、高齢者や幼児、そして車いす使用者など、施設利用者の安全性と利便性を確保することはもとより、水辺空間のい</p>

やしの場を兼ね備えたペDESTリアンデッキは両施設の相乗効果を高める上で極めて重要な施設と考えておりますので、早期の着工をお願いいたします。